水道事業ローリングシート（個別事業点検表）

目指すべき方向性	強靭	基本政策	3 災害対策の推進	施策	3-1 震災対策の強化	事業	3-1-1 水道施設の耐震化	担当課	上水道建設課

総事業費	1,953,065千円	事前・中間評価								
計画額	令和元年度（予算額）	令和2年度（予算額）	令和3年度（予算額）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	38,663千円	96,747千円	274,016千円	367,892千円	287,426千円	361,381千円	206,363千円	89,333千円	45,196千円	186,048千円
取組内容、数値目標及びスケジュール（単年度）	・災害発生時においても市民の救護等の支障とならないよう、災害拠点病院への配水ルートを耐震管により0.14km更新します。 ・工事施工にあたり、濁り水発生、出水不良及び交通渋滞等を抑制するため、施工業者と綿密に施工方法、施工体制を確認します。 ・救急告示医療機関への配水ルートを耐震管に更新するため、1.68kmの基本設計を行います。	・災害発生時においても市民の救護等に支障とならないよう、救急告示医療機関への配水ルートを耐震管により 0.34km更新します。 ・工事施工にあたり、濁り水発生、出水不良及び交通渋滞等を抑制するため、施工業者と綿密に施工方法、施工体制を確認します。	・災害発生時においても市民の救護等に支障とならないよう、救急告示医療機関への配水ルートを耐震管により0.83km更新します。 ・工事施工にあたり、濁り水発生、出水不良及び交通渋滞等を抑制するため、施工業者と綿密に施工方法、施工体制を確認します。	・災害発生時においても市民の救護等に支障とならないよう、救急告示医療機関への配水ルートを耐震管により0.81km更新します。 ・工事施工にあたり、濁り水発生、出水不良及び交通渋滞等を抑制するため、施工業者と綿密に施工方法、施工体制を確認します。	・災害発生時においても市民の救護等に支障とならないよう、救急告示医療機関への配水ルートを耐震管により0.54km更新します。 ・工事施工にあたり、濁り水発生、出水不良及び交通渋滞等を抑制するため、施工業者と綿密に施工方法、施工体制を確認します。					
総事業費	402,368千円	終了時評価								
決算額	32,862千円	96,098千円	273,408千円							
達成状況	・災害発生時においても市民の救護等の支障とならないよう、災害拠点病院への配水ルートを耐震管により0.15km更新した。 ・工事施工にあたり、濁り水発生、出水不良及び交通渋滞等を抑制するため、施工業者と事前に施工方法、施工体制を確認し、大きな事故等が発生せずに工事が完了した。 ・重要給水施設である災害拠点病院への配水ルートを耐震管に更新するため、1.68kmの基本設計を策定した。	災害発生時においても市民の救護等に支障とならないよう、救急告示医療機関への配水ルートを予定路線0.34kmに対し、約0.40kmを耐震管により整備しました。執行率は延長ベースで約118%です。	・災害発生時においても市民の救護等に支障とならないよう、救急告示医療機関への配水ルートを耐震管により 0.84km更新しました。 ・工事施工にあたり、交通渋滞等がないように、事前に施工方法、施工体制を確認し、事故等もなく工事を進めています。							